

2017年度富山県社会福祉士会
12月期理事会議事録

1. 会議開催日時 2017年12月13日(水) 午後18時55分開会
2. 会議開催場所 サンフォルテ 研修室301
3. 出席者名 根津敦、清水剛志、相山馨、酒井誠、中山光明、岩崎久憲、石坂留美
北滝めぐみ、高木正樹(記録)
事務局 牛田稔一(事務局長)
4. 定足数 理事総数 10名 【定足数理事総数の2分の1以上(8名)】
本人出席 9名
代理出席 0名
合計 9名
5. 報告・連絡・協議事項

- ・事務局に届いた資料の回覧について
- ・子ども家庭福祉研修会の企画について
- ・生涯研修の報告について
- ・平成29年度北陸ブロック三県社会福祉士会会議の報告について
- ・家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会の報告について
- ・司法福祉全国実践研究集会等の報告について
- ・ぱあとなあ富山について
- ・来年度の企画案等(総会も含む)について
- ・議事録の取り扱いについて
- ・事務局から

6. 議 長 理事会の議長には、定款第40条により会長がこれにあたり、議事に入る。

7. 審議結果・報告・連絡

【事務局に届いた資料の回覧について】 … 根津会長

- ・会宛の郵便物(各種案内、資料等)は会員に伝えるべきである。
会員への案内方法:ホームページ上に掲載。掲載するものの取捨選択は事務局が行う。

【子ども家庭福祉研修会の企画について】 … 別紙参照

… 清水理事

- ・富山SSW学習会…今後は隔月開催を目指していきたい。また本学習会を通じて、新入会員を取り込んでいきたい。対象は現任のSSWを想定している。
(関連)・県内のSSWは35名程(内社会福祉士は19名程。社会福祉士以外では元警察官等がSSWを担っている)。
 - ・研修実施予算について:次年度は共同募金助成での実施は不可(*次年度、ぱあとなあ事業について助成申請済の為)
- ・中学生の受験に向けた勉強会…対象は外に出る機会がなく受験経験がない生徒を想定。本勉強会を実施することで対象生徒の受験に向けた心構えを確認したい。案内は県内全域の中学校に配布するのではなく、SSWに配布予定。

【生涯研修の報告について】 … 別紙参照

… 高木理事

- ・2018年度基礎研修日程(案)… 別紙参照。別紙日程の通り進めていく。

- ・北陸3県生涯研修委員会議 報告 … 別紙参照。
- ・2018年度の基礎研修Ⅲ運営について … 昨年度と同様の形(会場・主務:石川、富山担当科目:権利擁護系、人材育成系)で進めていく。

(課題)・受講者数の減少 → 赤字運営の慢性化

- ・SV体制が未整備
- ・研修開催場所が安定しない

*次年度の修実施に向け、これまでの基礎研修課程修了者に対して基礎研修運営への協力・参画を呼び掛けていきたい。

(意見)基礎研修については、現在の受講料の場合、受講生が13~14名いないと採算が取れない。受講生を増やす取り組みが課題と思われる。また、2018年度から県士会が会員情報管理を行うシステムに移行予定。現状では会員から研修管理システムに関する問い合わせはないものの準備は必要。今後、研修履歴入力も含めた会員管理システムの運用をどうするのが課題と考えられる。(牛田事務局長)

【平成29年度北陸ブロック三県社会福祉士会会議(8/27)の報告について】 … 別紙参照
… 根津会長

出席:根津会長、酒井理事、岩崎理事、福島事務局員

- ・石川県社会福祉士会、福井県社会福祉士会と会運営その他について現状共有と課題の確認を行った。石川、福井ともに会組織の改革、新入会員を増やす取り組みを進めていた。三県共通の課題として他専門職とのより積極的な交流が挙げられた。
- ・基礎研修運営に関しては、今後も三県連携を継続していく方向を確認。但し、基礎研修Ⅲ(共催)の今後の運営の在り方については検討を続けていく。
- ・Eラーニング導入については、石川、福井ともにすぐには導入可否を決定できないといった意見であった。

(出席した感想)・石川は組織改革等を地道に話し合っており、富山は大丈夫かという印象を受けた。 … 酒井理事

- ・石川や福井は会運営や経費等について十分話し合いが為されている印象。また、研修後に新入会員対象の交流会を催す等、新入会員の取り込みを行っている。
- … 岩崎理事

【家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会(12/5)の報告について】 … 別紙参照
… 根津会長

出席:根津会長

- ・主催は家庭裁判所長。出席者は家裁調査官、書記官、県厚生部他市町村担当課、社協、弁護士会、司法書士会、税理士会等であった。
- ・協議会には、家裁調査官同士のロールプレイ(後見申し立て手続き場面)も含まれていた。
- ・関係機関によるネットワーク作りに関する議案では、司法書士会側から、県がもっと主導して欲しいといった意見が述べられた。富山県社会福祉士会からは、家裁ももっとリーダーシップを発揮して欲しいと意見を伝えた。

【司法福祉全国実践研究集会(9/30-10/1)等の報告について】 … 別紙参照
… 根津会長

出席:根津会長

- ・初日は一般参加ありの研修集会。明石市長から、社会福祉士がもっと(司法福祉の)支援主体になるべきとの意見が述べられた。二日目は主として担当者の交流会であった。京都府は入り口支援から社会福祉士が関わる仕組みとなっていた。一方で、「入口(刑務所に収監)」「出口(出所)」といった言葉が適切なのかどうかといった意見も聞かれた。

【ぱあとなあ富山について】 … 別紙参照
… 酒井理事

- ・来年2月に新年会を企画。

(提案)新年会は名簿登録者が対象なので、会からの費用補助を検討してみても良いのでは。

(牛田事務局長)

【来年度の企画案等（総会も含む）について】 … 根津会長

- ・条件反射制御法研修を企画していく。
- ・川村隆彦先生（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科准教授）を招聘したSW研修を企画していく。

【議事録の取り扱いについて】 … 全体協議

- ・理事会議事録については、会のホームページ上で公開していく。

【事務局から】 … 別紙参照

… 牛田事務局長

- ・現時点での会計収支：最終的には若干の赤字決算見込み。
- ・国家試験模擬試験収入について：会員対象事業ではないので収益事業扱いになる。その為、会収入として処理できない。また他実施団体よりも受講料が高いため収益が出てしまうという問題も発生している。次年度は受講料を若干低く設定するのが妥当ではないか。
- ・事務局複合機のリース契約について：月額2万円を要している。
- ・事務局員の人件費について：現在の金額は2名のパート事務局員人件費を合算した数字。常勤配置の場合は月額30万を見込む必要がある。その場合、現在の収支状況では赤字となる。
現状の収支赤字要因は主に研修出張旅費経費及び基礎研修にある。
会自体の収入を増やす為には会員を増やす必要がある。

*福島事務局員は今年度で退職予定。

8. その他

- ・酒井理事から：ぱあとなあ会員から、会長が鯛起こし前号に同封したものについて以下の問い合わせあり。会員には会長の思いが伝わっていないと思われる。
①あの内容は会長個人の意見か ②会長は何を言いたいのか ③会長はどうしたいのか
また、日本社会福祉士から、副会長の松山氏が根津会長に直接話を聞きたいが連絡が取れていないとも聞いている。どのような状況なのか。

根津会長：(会員からの問い合わせについて)

日本社会福祉士会の全国会長会議運営に問題があると言いたかった。あの会議自体、日本社会福祉士会の規定集に記載されていない会議でもある。事前に意見提出等が為されていたにも関わらず、その意見を述べる機会が設けられていなかった。その機会を設ける運営を何故しなかったのかと言いたい。場の設定に問題があると言いたかった。もっと民主的にやって欲しい、と。

(松山副会長のヒアリング要請の件について)

連絡が取れないということはない。松山副会長とのやりとりは確かに連絡があり、誰が来るのか、何の為に来るのか等を問い、何回か手紙で返事を送った。実際に会う事はなく、その後は音沙汰がない。

- ・根津会長から：(会運営について) 県ケアマネ協会では県内を9ブロックに分けて組織化している。当会の組織化を検討していく上で参考になるのではないかと考えている。

(会の透明化について) 会役員等が富山県社会福祉士会として会議等に出席した場合、いつ何に出席したのか情報開示できるようにしておかなければならない。役員が会以外の何の役員や外部理事等を担っているかについても同様。

- ・広報誌『鯛起こし』発行について：次回鯛起こし原稿については柴田事務局補佐に提出を。

9. 次回の理事会

理事会予定日 (1月を予定 (*後日確認))

午後21時00分終了

本議事録のとおり相違ありません

平成30年7月11日

議長

根津 毅 

署名人

高木 五樹 